

26. 令和4年度山口県てんかん地域診療連携体制整備事業活動報告

山口県立総合医療センター
てんかんセンター長 藤井 正美

1 当院の概要

山口県立総合医療センターは、総病床数は504床であり、一般病床490床と第一種および二種用感染症病床14床（感染症センター）から成っています。

〔診療科目〕

内科・脳神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・糖尿病・内分泌内科・血液内科・小児科・小児科（新生児）・外科・呼吸器外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・頭頸部外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・婦人科（生殖医療）・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・精神科・救急科・麻酔科・歯科・歯科口腔外科・病理診断科

〔主な機関指定等〕

地域医療支援病院・臨床研修指定病院・へき地医療拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・救命救急センター（第3次救急医療機関）・救急告示病院・総合周産期母子医療センター・第一種感染症指定医療機関・基幹災害拠点病院・エイズ治療拠点病院・山口県DMAT（災害派遣医療チーム）指定病院・山口県肝疾患専門医療機関・認知症疾患医療センター・臓器提供施設など

令和4年7月14日付で、山口県よりてんかん支援拠点病院に指定されました。当院のてんかんセンターでは、てんかんに関する診断から治療まで対応できます。特に難治例に対しては、高密度脳波計やビデオ脳波同時記録装置等による精密かつ最新の検査および外科治療を提供します。具体的診療内容は以下の通りです。

- てんかん専門医による外来診療（問診、CT/MRI 検査、脳波検査、血液検査、薬物治療）
- 脳波専門医による脳波判読
- 高密度脳波検査（256ch 脳波）
- 長期継続ビデオ脳波同時記録（入院）
- てんかん手術（頭蓋内電極留置、焦点切除、脳梁離断、迷走神経刺激装置埋込術等）
- 神経救急における脳波モニタリング（けいれん重積等）
- 脳死判定（脳死移植を前提とした）
- てんかんのセカンドオピニオン

また、当センターのみでは全てのてんかん患者さんに対応することはできませんので、病院内関連科、大学病院及び県内のてんかん診療を行なっている医療機関との連携体制を強化し、てんかんの地域医療及び先進的研究の発展に寄与します。

2 今年度の活動状況

○第46回日本てんかん外科学会の開催

この度、第46回日本てんかん外科学会の会長を仰せつかり、2023年1月26日、27日の両日山口市（KDDI 維新ホール）にて開催しました。全国から多くの医師及び医療従事者が集い、熱い議論が交わされ、学会は成功裡に終了しました。

○県民公開講座「脳卒中とてんかんについて」を開催

山口県と合同で開催しました。当日は、新型コロナウイルス感染症と寒波の影響もあり、参加人数は30名となりました。



○第1回山口県てんかん治療医療連携協議会の開催予定（令和5年3月24日）

協議会メンバー（予定）：

山口県立総合医療センター てんかんセンター

山口大学医学部附属病院

鼓ヶ浦こども医療福祉センター 院長

精神保健福祉センター所長、防府保健所長、山口県健康増進課

山口県立総合医療センター事務